

扇山(1138m)&百蔵山(1003m)山行報告

【山行日】 2015年11月 15(日) 雨後晴れ

【集 合】 岩舟支所P AM 5:30

【費 用】 マイカー1台 : 4,200円

【メンバー】 CL:鈴木、岩淵、大西、梶内、
島田、藤原、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P5:30=大月総合グランドP7:10/7:40=梨ノ木平 8:10~扇山 9:40/9:50~
コタラ山 11:20~百蔵山 11:45/12:25~大月総合グランド 13:40=猿橋 13:50/14:05=岩舟支所 P16:40

二日前までの天気予報は、ずっと雨の予報で参加者たちも中止になると思っていたようだ。

前日朝の天気図を見て、9時過ぎから天気が回復すると判断し、決行するとメールを送った。岩舟支所を出るときから雨が降っていて、皆さんは「本当に雨が止むの？」と心配そう。



大月総合グランドPについても雨は止まず、集会所の軒先を借りて出発の準備を整えた。時間通りに予約したタクシーが着き、2台に分乗し登山口の梨ノ木平に向かう。地元の運転手さんも梨ノ木平の場所が分からず、我々が案内して登山口に着く。梨ノ木平にはトイレがあり、地元の山岳会の方達によって登山道も綺麗に整備されとても歩き易い。歩き出すと雨も上がり、杉の植林帯の中の緩やかな傾斜の道を登って行くとやがて沢に出る。ここは水場になっており、ベンチもあるので休憩を入れる。

ここからはジグザグの急登となり、しばらく頑張ると自然林の中を登るようになり紅葉が美しい。さらに急登を頑張ると尾根上に出て、左に行くと百蔵山だが扇山へは右に進む。緩やかな尾根道を10分ほど登ると扇山山頂に着く。

明るく開けた山頂からは、道志や西丹沢の山々が見渡せ、山並みの上に富士山がひととき美しい姿を見せてくれた。展望を楽しみながら大休止し、干し柿やオレンジを食べてエネルギーを補給する。山頂からは来た道に戻り、登山口からの分岐を直進し百蔵山へ向かう。尾根道を300mくらい下るが、落ち葉の下は滑りやすい赤土で、アーとかオーとか滑った声が聞こえる。I 淵さんが滑って転んだのを見て、S 田さんがザックの上を掴んで起こ





すと「ネコじゃないんだからそんな所を持って起こさないで！」と言うと「起こしてもらって文句言うことはないだろう。」とのやり取りに大爆笑。アップダウンを繰り返しながら、植林帯の尾根歩きは結構疲れる。途中からガスが掛かり展望のないアップダウンの道をひたすら歩き、明るく開けたカヤトの巻道でコタラ山を通過する。少し下ると百蔵山への最後の急登が始まる。急坂を頑張って登ると、いこいの森キャンプ場への分岐に出て、平坦な道を少し登ると百蔵山に着く。

山頂にはベンチやテーブルがあり、3組のパーティーがランチタイム。道志の山々や富士山の眺望が得られるが、富士山は雲の中で、時々雲の合間から顔をのぞかせる。我々もランチタイムとし、眺望を楽しみながら温かいけんちんうどんをいただく。

百蔵山からは西側へ大洞山との稜線鞍部へ下り、分岐を左へジグザグに下って行く。途中の展望所を過ぎると、沢沿いの杉や檜の薄暗い道を下るようになり、水道タンクが現れ左に少し登ると車道に出る。道なりに下って行き、東部地区百蔵浄水場を過ぎるとトイレがあり、トイレを借りて行く。

新興住宅地の中をどんどん下って行くと、大月総合グラウンドの駐車場に着いた。



靴を履きかえ車に乗ると、「日本3奇橋の猿橋に寄りたい」との要望があり猿橋に向かった。狭い駐車場は満車で、皆を降ろして先に見学に行かせ駐車のを空を待つ。すぐに1台分空き、車を入れて皆の後を追った。

猿橋が掛かる溪谷の紅葉が丁度見頃で、橋の上から溪流に掛かる紅葉を楽しめた。

帰りの中央高速は渋滞も無く順調に走り、圏央道も順調で、新しくできた菖蒲 SA に寄って買い物をし、岩舟支所に予定より1時間以上早く着いた。